

第1学年 美術科学習指導案

対 象 1年3組 7人
指導者 CT 竹迫 美和子
ST 瀬戸 祥太

1 題材名 いずよう写真館

2 題材目標

知識及び技能	・ 写真の表現技法について知り、自分の制作意図に沿って、何枚かの写真を組み合わせて表現することができる。
思考力、判断力、表現力等	・ 構図や技法を工夫しながら写真を撮ったり、コラージュしたりして、自分なりの価値や世界を表現することができる。 ・ 友達と互いの作品を鑑賞することで、作品の造形的な特徴を見付けたり、感じたことを言葉等で伝えたりすることができる。
学びに向かう人間性等	・ 学んだことや友達との意見交換を生かし、主体的に作品を制作することができる。

3 題材について

高等部1年生の美術の授業では、これまでに、水彩画による「友達の似顔絵」とモダンテクニックを使った「夏の風景」の制作を行ってきた。その中で見えてきた生徒たちの課題として、表現や鑑賞の経験の少なさから、描画材料を使ってモチーフを具体的に描いたり、自分のイメージを構成して画面上に表現したりすることの難しさが見られた。また、自分の作品の説明をする際や、友達の作品を鑑賞した際、思っていることを言葉で表現することに不安があり、短い言葉で終わってしまったり、前に発表した人と同じようなパターン化された言葉になってしまったりすることが多い。

以上の実態を踏まえて、本題材「いずよう写真館」を設定した。写真は、カメラで撮影したものをその場で確認できたり、構図やアングルを変更しながら何度も取り直しできたり、絵を描くのが苦手な生徒も手軽に好きな場面を表現することができる良さがある。また、昨今のスマートフォンの普及や、学校でのタブレット端末の整備により、生徒たちにも身近なものとなっている。本題材は、学校敷地内で自分が写真に撮りたい場所や場面、人物等を見付けて何枚か撮り、それらを組み合わせたコラージュによる想像写真を制作する。大きなテーマ「不思議な写真」を構成するために、生徒自身が「おもしろい」、「びっくりする」、「かっこいい」といった、自分なりの制作意図、意味や価値をもって作品を制作することを狙う。更に、完成後の鑑賞はもちろん、制作途中にも友達同士で自分の制作意図を説明したり、互いに感想を伝え合ったりする活動を行うことで、表現と鑑賞の機会を増やすようにする。それにより、友達との意見交換を通して、自分の知らなかった表現方法に気付き、作品に対する見方や感じ方を深めることや、思っていることを言葉で表現する力の向上が期待できる。

写真を、単に記録や思い出の場面として撮影するだけでなく、表現材料として美術的な視点や自分としての意味や価値をもって扱えるようにする。それにより、美術への興味・関心や感性を高め、生徒一人一人の生活が心豊かなものとなることを期待するとともに、美術を愛好する心情がより育まれることと考える。また、作品に対する自分としての意味や価値を、教師や友達に向けて言葉等で表現する経験を通して、自分の制作活動に自信を付けたり、他者の作品をより深く理解する力が高まったりすると考える。

4 指導計画

※ 別紙を参照。

5 本時

題材名		いずよう写真館	時数	4 / 5	チーフ	竹迫	期日	令和3年11月9日(火)5校時	場所	大会議室
目標	本時の重点項目	■知識及び技能 ■思考力, 判断力, 表現力等 □学びに向かう人間性等								
		○ アイディアスケッチを基に工夫して制作ができる。 ○ 友達に制作意図や, 感想を伝えることができる。								
		主な学習活動			特に働かせる見方・考え方			指導上の留意点		
3分	1 始まりの挨拶をする。 2 前時の振り返りをする。							<ul style="list-style-type: none"> 前時までに撮影した写真を印刷し, 準備しておく。 		
2分	3 本時の学習目標を確認する。 「コラージュを完成させ, 発表準備をしよう！」 4 本時の流れを知る。							<ul style="list-style-type: none"> 学習目標を板書し, 生徒が読み上げることで意識付けをする。 本時の流れをホワイトボードに示し, 生徒が見通しをもって学習できるようにする。 		
20分	5 コラージュする。 ・ 印刷した写真をはさみで切り取り, 配置を確認しながらコラージュする。	【感性・想像力】【意味・価値】 <ul style="list-style-type: none"> 前時で作ったアイディアスケッチを見ながら, 完成した作品を想像し, 作品に自分としての意味・価値を盛り込んでいく。 <div style="text-align: center;"> ↑ ↓ 【造形的な視点】 </div> <ul style="list-style-type: none"> アイディアスケッチを基に写真を配置する。 						<ul style="list-style-type: none"> アイディアスケッチを基に制作できるように言葉掛けをする。 実際に配置した写真を見て新しいアイディアが浮かんだときは積極的に取り入れるように指導する。 机間巡視をしながら, 必要に応じて指導し, その際の対話等を通して作品の意味・価値が深まるようにする。 		
20分	6 <u>学級で発表準備をする。</u> ・ 友達に自分の作品の説明をしたり, お互いに感想を伝え合ったりする。	【意味・価値】 <ul style="list-style-type: none"> 自分としての作品の意味・価値を発表する。 						<ul style="list-style-type: none"> これまでに学んだ内容を振り返りながら発表したり, 感想を伝えたりできるようにする。 事前に鑑賞の際の視点を生徒に示し, 生徒の発言を引き出せるようにする。 鑑賞の視点 <ul style="list-style-type: none"> 作品を見て, 何か気付くことはないか。 作った人はどんなことを考えながら作ったと思うか。 		
5分	7 まとめ, 次時の予告							<ul style="list-style-type: none"> 次回は, 学年で鑑賞会を行うことを伝え, 期待がもてるようにする。 		
	8 終わりの挨拶をする。									

令和3年度 美術(1年) 題材「いずよう写真館」

教科の見方・考え方	感性や美意識, 想像力を働かせ, 対象や事象を, 造形的な視点で捉え, 自分としての意味や価値を作り出すこと
-----------	--

観点	1 観点別の目標【何ができるようになるか】	4 観点別の評価【何が身に付いたか】
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 写真の表現技法について知り, 自分の制作意図に沿って, 何枚かの写真を組み合わせて表現することができる。 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 構図や技法を工夫しながら写真を撮ったり, コラージュしたりして, 自分なりの価値や世界を表現することができる。 友達と互いの作品を鑑賞することで, 作品の造形的な特徴を見付けたり, 感じたことを言葉等で伝えたりすることができる。 	
学びの態度	<ul style="list-style-type: none"> 学んだことや友達との意見交換を生かし, 主体的に作品を制作することができる。 	

5 指導計画の見直し(指導後)

項目	評価	
実施時期	適切	要検討
実施回数	適切	要検討
授業形態	適切	要検討
指導目標の達成度	ほぼ達成	達成できず
指導内容	適切	要検討
他教科との関連 他学部との関連	無 有	
引き継ぎ事項 その他		

2 題材計画(全5回)

3 題材指導中の反省等

時	月日	学習内容【何を学ぶか】	知技	愚判表	人間性	学習活動【どのように学ぶか】	指導上の留意点【子供一人一人をどのように支援するか】	特に注目する教科の見方・考え方 キーワード	良かった点・改善点等
1	9/21	参考作品の鑑賞		○		参考作品を鑑賞し, 自由に意見を発表する。	参考作品を見ながら, ワークシートにどのような感想をもったか書き, 意見を発表するよう伝える。	感性・想像力	
		写真を撮る。	○			タブレット端末の写真機能を使って試し撮りをする。	自由に写真を撮りに行き, まずカメラ機能に慣れるよう言葉掛けをする。	造形的視点	
		写真の撮影意図を説明する。		○	○	数名の撮影した写真を鑑賞し, 写真の撮影意図の説明をしたり, 聞いたりする。	発表する際, 工夫した点や参考作品を見てまねをした点を説明できるよう言葉掛けをする。	意味・価値	

2	10/5	<ul style="list-style-type: none"> 写真の技法を知る。 	○			<ul style="list-style-type: none"> 前時に撮影した写真を鑑賞し、写真の撮り方の技法について学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 前回、試し撮りをした何枚かの写真を鑑賞し、なぜかっこよく見えるのか、「アングル」、「ズーム」、「ピント」、「光の当たり方」等の視点が、生徒たちから自発的に出るよう、言葉掛けをする。 	造形的視点	
		<ul style="list-style-type: none"> 作品の背景に使用する写真を撮りに行く。 	○			<ul style="list-style-type: none"> 技法を工夫して写真を撮る。 	<ul style="list-style-type: none"> 学んだ技法にチャレンジするよう意識し、主体的に取り組むことができるようにする。 	感性・想像力 造形的視点	
		<ul style="list-style-type: none"> 撮影した写真を鑑賞する。 		○		<ul style="list-style-type: none"> 使った技法の説明をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達の撮った写真を見て気付いた点を発表できるようにする。 	造形的視点	
3	10/27	<ul style="list-style-type: none"> 作品の構想を練る。 		○	○	<ul style="list-style-type: none"> アイディアスケッチをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 作品のテーマを考えられるように言葉掛けをする。 	感性・想像力 意味・価値	
		<ul style="list-style-type: none"> 合成する人物写真を友達と撮り合う。 	○		○	<ul style="list-style-type: none"> テーマに沿った表情やポーズを撮影する。 	<ul style="list-style-type: none"> 撮影の仕方が分かりやすいように教師がデモンストレーションする。 アイディアスケッチを基に、自分でポーズをとって、友達とお互いに撮影し合う。 友達とポーズの話し合いができるようにする。 	造形的視点 意味・価値	
4	11/9 本時	<ul style="list-style-type: none"> コラージュする。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 印刷した写真を使って、人物等を背景に配置する。 	<ul style="list-style-type: none"> アイディアスケッチを基に制作ができるように言葉掛けをする。 	感性・想像力 造形的視点 意味・価値	
		<ul style="list-style-type: none"> 学級で発表準備をする。 		○	○	<ul style="list-style-type: none"> 友達に自分の作品の説明をする。 お互いに感想を伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> これまで学んだ内容を振り返りながら発表したり、感想を伝えたりできるようにする。 	意味・価値	
5	11/18	<ul style="list-style-type: none"> 学年で鑑賞会をする。 		○	○	<ul style="list-style-type: none"> 紹介シートを使用しながら、作品名や制作意図を考え、発表をまとめる。 友達の作品を鑑賞し、感じたことを言葉や態度で表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分や友達の作品を見たり、発表を聞いたことで、より深く自他の作品について、様々な感想をもつことができる。 	造形的視点 意味・価値	

美術科評価シート

題 材 名	時 数
いずよう写真館	4 / 5

1 生徒が、美術の見方・考え方を働かせる姿が見られたか。

項 目		良い<—>改善が必要		
感性・想像力	生徒が感性、想像力を働かせ、制作や鑑賞に取り組んでいる姿 感性：よさや美しさを感じ取ること 想像力：生徒が思いを膨らませ、その世界を楽しむこと	3	2	1
	評価の理由：			
造形的視点	生徒が造形的視点を働かせ、制作や鑑賞に取り組んでいる姿 造形的視点：色、形、質感、量感、構図などに注目すること	3	2	1
	評価の理由：			
意味・価値	・ 自分の作品や他者の作品に、自分としての意味・価値を見出そうと取り組んでいる姿。 意味・価値：作品の制作意図や鑑賞した感想	3	2	1
	評価の理由：			
	・ 見出した意味・価値を他者と伝え合う姿	3	2	1
評価の理由：				

2 教師は、生徒が見方・考え方を働かせられるような手立てや工夫が適切だったか。

手立てや工夫		良い<—>改善が必要		
感性・想像力	・ 前時で作ったアイディアスケッチを使って、作品のイメージを広げられるようにする。	3	2	1
	評価の理由：			
造形的視点	・ 机間巡視をしながら、生徒の作品やあらかじめ教師が準備した作品を示し、構図のよさなどに気付くことができるようにする。	3	2	1
	評価の理由：			
意味・価値	・ 発表の視点、鑑賞の視点を示し、自分の作品の制作意図や、他者の作品の感想を発表できるようにする。	3	2	1
	評価の理由：			